



かねがさきじゆく

# 金が咲き宿

## 金ケ崎町商店街 & 伝建群保存地区 ガイドマップ

### ■散策コース案内■

#### ● 必見コース

【表小路～達小路】所要時間/約30分

商店街のほぼ南端、旧国道4号線の岩手銀行金ケ崎支店前からT字路を東へ入る。県道江刺・金ケ崎線の南側に表小路、六軒丁、達小路があり、大きな構えの武家屋敷が続いている。大町氏のお抱え医師だった大沼家をはじめ、18世紀中頃の建築と伝えられる三好家、サルスベリの巨木が見事な菅原家と連なっている。達小路との堺には、敷地約1,000坪の佐藤家があり、石積みと生け垣では見えないが、完成された武士住宅と築山山水型の庭園がある。

表小路、達小路の家々は、樹齢数百年のスギ、ヒバ、マツ、クリ、クルミ、サクラ、モミジなど多くの樹木がうっそうと生い茂り、その中を歩くだけでも現代人は癒される。ゆっくりのびのび歩きたい。

#### ● 主要コース

【Aコース & 達小路～片平丁～六軒丁】

所要時間/約50分

表小路から南へ下ると、道は武家屋敷独特の樹型になって達小路に入る。ひととき大きな門構えと板塀が特徴的な大松沢家は、大町氏時代、山林奉行をつとめていた家。道に張り出すように茂るエノキ、カエデ、イチチョウなどの巨木は圧巻だ。

大きな寄棟造りの屋根が垣間見える笹井家を過ぎると、ごくふつうの住宅地に出る。坂道を下ると、道の南側にあるのが修験者の家だったという鈴森家。ここから進路を北にとり、ゆるやかな坂道をのぼると、左手にスギ林がある。ここから入ったところが旧大沼家。保存地区内でただ一軒馬屋が残っており、農家風のたたずまいだ。

六軒丁の遠藤家は、庭園が指定されており、ドウダンツツジの刈り込み門が珍しい。

#### ● 充実コース

【A・Bコース & 裏小路、諏訪小路】

所要時間/約90分

県道から北へ進路をとり諏訪散策路に入る。森林浴気分を味わうと、そこは北上川を見下ろす断崖の上。川はとうとうと流れ、ゴーゴーと川音が迫ってくる。大町氏はここに城を構えていたという。金ケ崎城は「水際に浮かぶ森の要塞」といわれるが、傾くばかりだ。桜並木の続く本丸、二の丸跡は広々とした原っぱのまま。往時々々である。

二の丸から諏訪公園に。さらに小さな石橋を渡ると金ケ崎神社に至る。ここは前九年の役の折、源頼朝が勧請したと伝えられる神社。東屋からの眺望がすばらしい。

金ケ崎神社から参道を抜けると、すぐ商店街に出るが、そのまま北へ向かうと、ドウダンツツジの生け垣が築地塀の形になっている細目家がある。

#### ● 白糸まちなみ交流館

平成14年3月に開館した伝建群の保存活動センター。保存活動の拠点施設であり、伝建群を訪れる人たちの交流する場でもある。建物は、もともとは町内永栄地区にあった農家で、建築部材は1790年頃のものという。場所は伝建群のほぼ真ん中、裏小路の県道沿いにあり、訪問客の問い合わせにも応じてくれる。気軽に立ち寄りよう。

〒029-4503 岩手県胆沢郡金ケ崎町西根裏小路2-1  
TEL&FAX.0197-41-2355

### 静かに歩きたい、大人の散歩道「金が咲き宿」

人と車が行き交う商店街のそこここから、路地をちょっと東へ入ると「伝建群」地区が南北に広がっている。「伝建群」の正式名称は「金ケ崎町城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区」。縮めて「伝建群」、通称「武家屋敷」と呼ばれている。

一帯は平成13年6月、国の保存地区に指定され、その面積は約35ha。ここには現在、約160世帯が暮らしており、その約3分の1は藩政期からの家の末裔に当る。

金ケ崎はかつて仙台藩の北の要害として築かれたまち。中心商店街の北端に位置する矢来は足軽屋敷だったところで、南隣の諏訪小路には大町氏の居館跡がある。さらに南に下ると、家臣団屋敷が点在し、時を経てなお、住まいの現役としていまも生きている。

武家屋敷は、どこも大樹と手入れの行き届いた美しい生け垣、庭木に包まれ、落ち着いたたたずまいだ。生け垣は「お互い三尺」といって、少し引込めてしつらえてあり、昔はもらい水の慣習もあったという。

敷地内には畑があり「半士半農」の趣きは、脈々と受け継がれたこの地の、目立たぬ地道な精神風土であり、どこか昔話のような懐かしさもある。

散策は、四季折々の表情を楽しみながらも住んでいる人たちに配慮し、静かに歩きたい。

### 国選定重要伝統的建造物群保存地区



#### ◆ 金ケ崎の味とおみやげ

本醸造「白糸御前」、大吟醸「宗任」、本醸造生貯蔵酒「金が咲き宿」、リンゴジュース、銘菓「千貫石」「おなごけんぱい」、平成22年3月に発売された「黄金まんじゅう」「金が咲きクッキー」、「しそ巻味噌」をはじめとする農産加工品、そして和紙面、まゆ製品など、古里ならではの物産が商店街にそろっています。おみやげにぜひどうぞ。お問い合わせは 金ケ崎町商工会まで。 TEL.0197-42-2710

#### ■ 商店街もユックリズムで

金ケ崎町の中心商店街は旧国道4号線(旧奥州街道)沿いにあり、およそ1kmほどの街並みである。この町割りの歴史は、大町氏の時代よりさらに遡り、慶長年間には57軒の商家があり、市日を開いていたという記録がある。また、幕末には魚網商が盛んで、江戸との取り引きを行ったり、旅籠もあり、小規模ながら宿場町を形づくっていた。時は流れ、いま、町を訪れる人たちに、声高に勧めるものはないが、銘酒、銘菓、農産加工品など、金ケ崎らしい特産品がある。伝建群と同じように、それぞれが自分で街を歩き、あなたの金ケ崎をみつけてほしい。

#### アクセス図

##### ● 伝建群アクセス

- 東北本線金ケ崎駅より徒歩5分
- 東北新幹線水沢江刺駅よりタクシーで15分
- 岩手県交通バス水沢、北上より「本町」下車、徒歩2分
- 東北自動車道水沢ICより車で7分
- 東北自動車道北上・金ケ崎ICより車で10分

伝統的建造物群